

平成 28 年度

～皆さまの声を市政に生かしています～

市民意見の主な反映事例

①敬老パスの IC カード化について

【市民意見の要旨】

敬老パスは高齢者にとって、健康維持のため外出する機会が多くなり、大変ありがたいです。しかし、地下鉄利用の場合はパスをケースから取り出して自動改札機を通さなくてはならず、高齢者には面倒で、面倒だと出歩かなくなってしまう。出来れば改札機にかざすだけで改札を通れるようご一考いただきたいです。

【市の対応】（健康福祉局）

敬老パスにつきましては、平成 29 年 3 月をもって全て磁気カードから IC カードに切り替わりました。

②図書館の駐車場について

【市民意見の要旨】

千種図書館の駐車場が狭すぎて不便です。いつもいっぱい、土日なんて並んでいます。それなのに、駐車禁止の鉄パイプのせいで車二台が普通に通れない幅になっています。駐車禁止はパトロールしてもらおうなどして、あの鉄パイプだけでも何とか撤去してもらえませんか。本当に不便です。

【市の対応】（教育委員会事務局）

平成 29 年 3 月末より、駐車場に入る道の図書館寄りの部分のみ鉄パイプを撤去し、新たに 3 台分の駐車スペースを設けました。

③防災用の放送について

【市民意見の要旨】

小学校から毎月1日に流される防災用の放送ですが、所々音が消えて聞こえません。点検はしているのでしょうか。

【市の対応】（防災危機管理局）

放送で用いる防災スピーカー機器の点検ですが、毎年7月から9月にかけて市内の全設置場所を対象に実施しています。

なお、今後、この防災スピーカーは、平成28、29年度の2年間で音声は明瞭に聞こえる機器に更新する予定です。

④道路の路面表示について

【市民意見の要旨】

家の前の道路を、分団集合地に行く為に数名が集まって毎朝登校します。保育園が道沿いにあり、送迎車がかなりのスピードを出して子供達のすぐ横を通り過ぎる為、白線を引いていただくか、道路に色をつけて頂きたいと思います。

【市の対応】（緑政土木局）

幅員の都合上、路肩カラーや外側線を設置する施策ができません。現地は交差点（T字路）を示す路面標示や指導停止線が消えているため、平成29年3月に路面表示や指導停止線を書き直ししました。

⑤名古屋城における英語での案内について

【市民意見の要旨】

先日、名古屋城に海外から来た友人を連れて行きましたが、城の中や外の説明には英語がなく、その都度通訳しなくてはならずとても困難でした。早急に改めて頂きたいものです。ついでに中国語やスペイン語なども必要と思います。

【市の対応】（観光文化交流局）

名古屋城にご来城いただく外国からのお客様に、名古屋城を理解し、楽しんでいただくため、城内の案内看板には、英語の表記もさせていただいております。天守閣内の案内には、一部英語の表記の無いものも有りますので、今後、順次整備してまいります。

また、天守閣内においては、大型解説パネルを7枚更新(5か国語で内容説明)したほか、展示物によって印刷物やタッチパネルモニターに多言語表記するなど、今後も可能なスペースで多言語での情報提供手段を講じていきます。

その他、平成29年9月13日(水)より、本丸御殿において音声案内ガイド機器の貸出(有料:1回100円)を4言語にて開始しております。

今後とも、英語、中国語をはじめとした城内の多言語表示につき、順次整備に努めてまいりますとともに、場外については必要に応じて関係局にお伝えします。

今後も市民の皆さまのご意見を幅広く積極的に聴き、行政運営に生かしてまいりますので、ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

■名古屋市公式ウェブサイト「市政相談「市民の声」」のページ

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/59-12-0-0-0-0-0-0-0-0.html>